

## 高知県から「廣井勇を顕彰する会」が小樽港湾事務所を来訪 ～初代所長「廣井勇」の功績を学ぶ見学会・講座の開講～

小樽港湾事務所では、昨年度に引き続き高知県で設立した「廣井勇を顕彰する会」の申し込みを受け、小樽築港事務所（現在の小樽港湾事務所）の初代所長である廣井勇の功績を学ぶための見学会・講座を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

「廣井勇を顕彰する会」は、廣井勇博士について深く研究・顕彰して、偉大な功績を広く啓発し、多くの若者が彼の生き方に共感を覚え、建設産業の担い手として成長されることを願って、高知県の建設系関係者らが中心となり、平成30年5月14日に設立されました。

昨年9月に引き続き、北海道での功績を巡るため、出生地である高知県佐川町の堀見和道町長を団長とし、廣井勇博士ゆかりの深い小樽港湾事務所において、見学会・講座を受講されることとなったので、お知らせします。

### 記

- 1 日時 令和元年7月29日（月）13:00～15:00
- 2 場所 小樽開発建設部 小樽港湾事務所 3階会議室 ほか
- 3 参加者 「廣井勇を顕彰する会」11名
- 4 内容 詳細は、別紙をご覧ください。
- 5 その他 報道機関の皆様には、会場に記者席を用意しますので、13時までにお越しください。



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

広報官 田中 邦彦 (0134-23-9910)

小樽港湾事務所 計画課長 本間 薫 (0134-22-6131)



## 1. 小樽築港事務所初代所長「廣井勇」について



文久2年（1862年）に土佐藩佐川村（現在の高知県佐川町）に生まれ、明治10年（1877年）16歳にて札幌農学校（現在の北海道大学）に入学、同期には新渡戸稲造、内村鑑三らがいます。卒業後は、アメリカへの留学、札幌農学校の教授を経て、北海道庁の技師となり、明治30年（1897年）からは、小樽築港事務所の初代所長として、小樽港の計画・調査から工事までを指導し、明治41年（1907年）に第1期工事として北防波堤が竣工しています。波の力を算出するための計算式を発案、当時、技術が確立していなかったコンクリートについて、長期の耐久試験を行うなど、以降の港湾工学の礎を築き、「港湾工学の父」と呼ばれています。また、明治32年（1899年）からは東京帝国大学教授を兼任し、教育者として第3代所長となる伊藤長右衛門ら多くの土木技術者を輩出しています。

## 2. 「廣井勇を顕彰する会」について

廣井勇について深く研究・顕彰して、偉大な功績を広く啓発し、多くの若者が彼の生き方に共感を覚え、建設産業の担い手として成長されることを願って、高知県の建設系関係者らが中心となって、平成30年5月14日に「廣井勇を顕彰する会」が設立されました。

（役員）会 長 岡村 甫 氏（高知工科大学 顧問）  
 副会長 磯部 雅彦 氏（高知工科大学 学長）  
 堀見 和道 氏（佐川町長）  
 吉村 文次 氏（(一社)高知県建設業協会 会長）  
 右城 猛 氏（高知県橋梁会 会長）

※「廣井勇を顕彰する会」ホームページ <https://www.hiroi-isami.com/> より

## 3. 事務所来所・見学会の内容について

日 時 令和元年7月29日（月）13:00～15:00  
 13:00～13:30 講座  
 13:30～14:15 小樽港湾事務所資料コーナー説明  
 14:15～15:00 小樽港洋上見学

場 所 小樽開発建設部 小樽港湾事務所 3階会議室、資料コーナー ほか

参加者 「廣井勇を顕彰する会」北海道視察団11名  
 団長 廣井勇を顕彰する会副会長 堀見 和道（佐川町長） 外10名

講座内容 小樽築港事務所長時代の廣井勇の功績、北海道での技術者の育成などを予定



（昨年度の開催状況）